

## 手根管症候群と合併した円回内筋症候群

(社)長野県針灸師会 今村頌平

【はじめに】本症例は、手根管症候群と円回内筋症候群が合併し、前腕の痛みと正中神経麻痺症状を訴えて来院。60日間11回の鍼灸治療で改善した。

【症 例】50歳 女性 ペンキ職人

【初 診】平成24年4月6日

【主 訴】右母指、示指、中指、薬指指掌側末梢の痺れ

【現病歴】昨年12月から右母指、示指、中指、薬指右指掌側に痺れが出現。近医にて頸椎の牽引を受けてきたが、症状が改善しないため来院。ペンキ塗る際や壁材料の検査をする際に肘関節を回内屈曲する作業が多い。物を掴まむ動作時、右母指、示指、中指に力が入りづらい。朝起きると痺れが強いが、肘関節回外や手を振ると症状は軽減する。一般症状は良好。

【診察所見】Phalen test 陽性、右手根管部における Tinel' s sign 陽性、右母指、示指、中指、薬指掌側指尖部に放散痛が出現。右肘関節回内位手関節背屈位にて右母指、示指にシビレが誘発上腕三頭筋、腕橈骨筋の腱反射正常。母指掌側外転運動(短母指外転筋)に制限は認められない。右円回内筋中間部付近に硬結がある。頸部運動による症状出現はない。触手による手掌部の皮膚温の低下はない。Perfect O test 正常、筋の萎縮、手根部の膨隆も認められない。

【治療・経過】ペンキ作業により前腕へ負担がかかり、神経絞扼が起きていることを説明し、前腕、手掌への循環改善を目的に以下のように行った。治療体位は背臥位で肘関節やや回外屈曲位で行った。治療部位は手根横靭帯、内関、郗門。鍼はステンレス鍼の1寸6分-3番(50mm-20号)を用い、1.5cm直刺し、1Hz-15分のパルス通電を行った。円回内筋硬結部には1寸6分-3番(50mm-20号)を直刺2cm刺入し15分置鍼。母指、示指、中指、薬指指尖へは半米粒灸を用いて3壮行った(灸点紙使用)。

第2回目(4日目) 前回の治療後に薬指のシビレが消失。

第4回目(12日目) 中指の痺れが消失。物を掴まむ動作が楽になる。

第7回目(33日目) 朝方と仕事後に痺れが出るが、気が付くと痺れない時がある。

第11回目(60日目) 仕事をしても感覚障害が出現しない。徒手検査を行った所、症状出現しないことから治療は終了した。

【考察】本症例は Phalen test 陽性、右手根管部における Tinel' s sign 陽性。肘関節回内手関節背屈位にて母指、示指にシビレが出現することから、手根管症候群と円回内筋症候群を疑って治療を行った。手指の痺れを訴える患者さんは鍼灸の臨床現場に多く訪れるが、合併症が疑われる場合もある。徒手検査を用いての鑑別診断は大切であると気付かされた症例であった。

キーワード：手根管症候群、円回内筋症候群